

Illustrator でスタイル画を描く。

線幅に強弱を付けて描く。

より細かい描写を描く方法

ペンタブの細さには限度があるため

余りにも細かい描写には不向きかも知れない

そこでアートボードツールをクリックしてアートボードを広げる

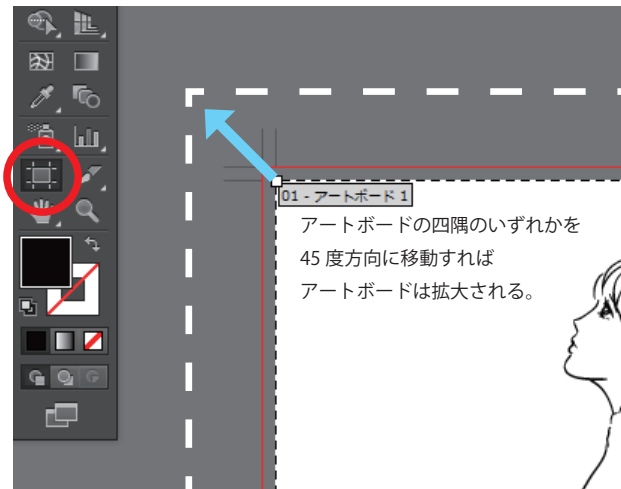
更に下絵を拡大してからトレースを行えば画像が大きくなった分だけ

細かい描写も可能になる。

また、着色を前提としたスタイル画の場合

絵型とは異なりそれ程線画に強弱を付けなくても

着色してしまえばそこそこの見栄え良く完成してしまう。



線幅に強弱あり。



線幅に強弱を付けたほうが
繊細なイラストには見える

線幅に強弱無し



全体的に線幅に強弱が無い場合は
若干雑に見える。

線幅に強弱を付けるのは
イラストを描く上では
基本的な事であるが
そこそこの着色でも
陰影まで描き込めば
線幅の強弱による
イラストの見栄えの違いは
それ程感じなくなる。
ここで重要なのは
見栄えを良くするには
陰影までしっかりと
書き込む事である。

勿論線幅に強弱を付けるに越したことはないが、それになりに描き込めばその差は余り感じられなくなる。

因みに筆者は A4 程度のスタイル画を作成する場合には予め下絵を A2 サイズ迄拡大した後、線画を書き込む。
完成後 A4 サイズに縮小すると行った工程で作業を行っている。